

令和4年度
口腔保健に関する予防強化推進モデル事業
(歯科疾患の一次予防モデル事業の検証等)

行政歯科保健担当者研修会

<事例紹介>

小中学生を対象とした包括的な地域歯科保健事業

千葉県柏市



左：(一社) 柏歯科医師会キャラクター「ラッキーくん」

右：柏市インフォメーションセンター キャラクター「カシワニ」

人口：431,203人

高齢者人口：111,674人

高齢化率：25.90%

認定率：16.23%

令和4年3月31日現在 住民基本台帳人口より

R3年 出生数：3,057人

R3年 死亡数：4,075人

○昭和30年代高度経済成長期にベッドタウンとして発展したまち

○国道6号線と国道16号線が市内で交差。

○常磐線，つくばエクスプレス，東武アーバンパークラインが通り，都内まで30分程度

○人口は増加中（自然減少を上回る転入超過）



柏の葉キャンパス



あけぼの山農業公園



手賀沼



柏レイソル
(三協フロンティア柏スタジアム)



吹奏楽のまち
(柏市立柏高校吹奏楽部)



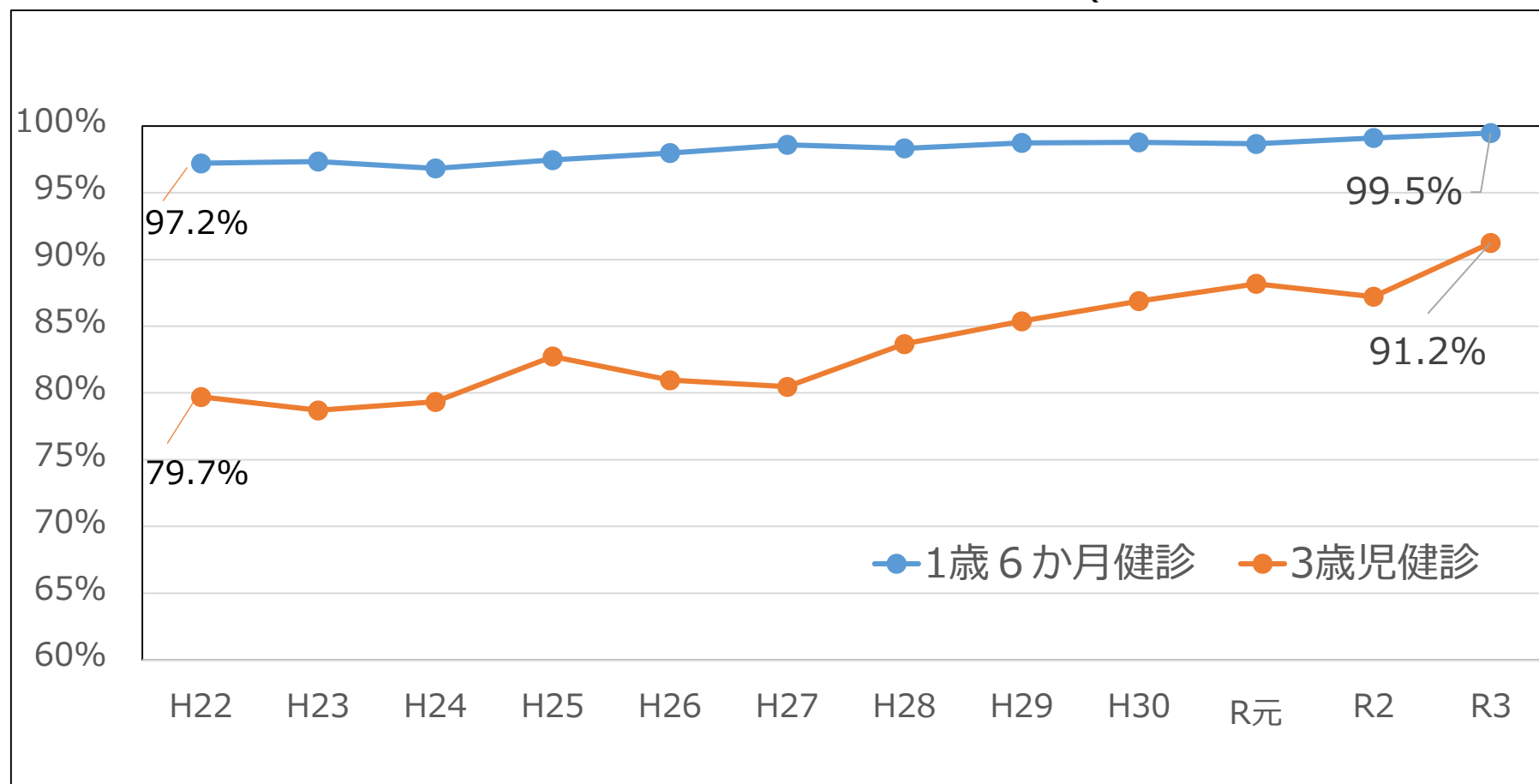
千葉県キャラクター
チーバくん

○歯科衛生士職員（人数と配置）

保健福祉部 1名（管理職）

保健所 3名（2課に分散配置）

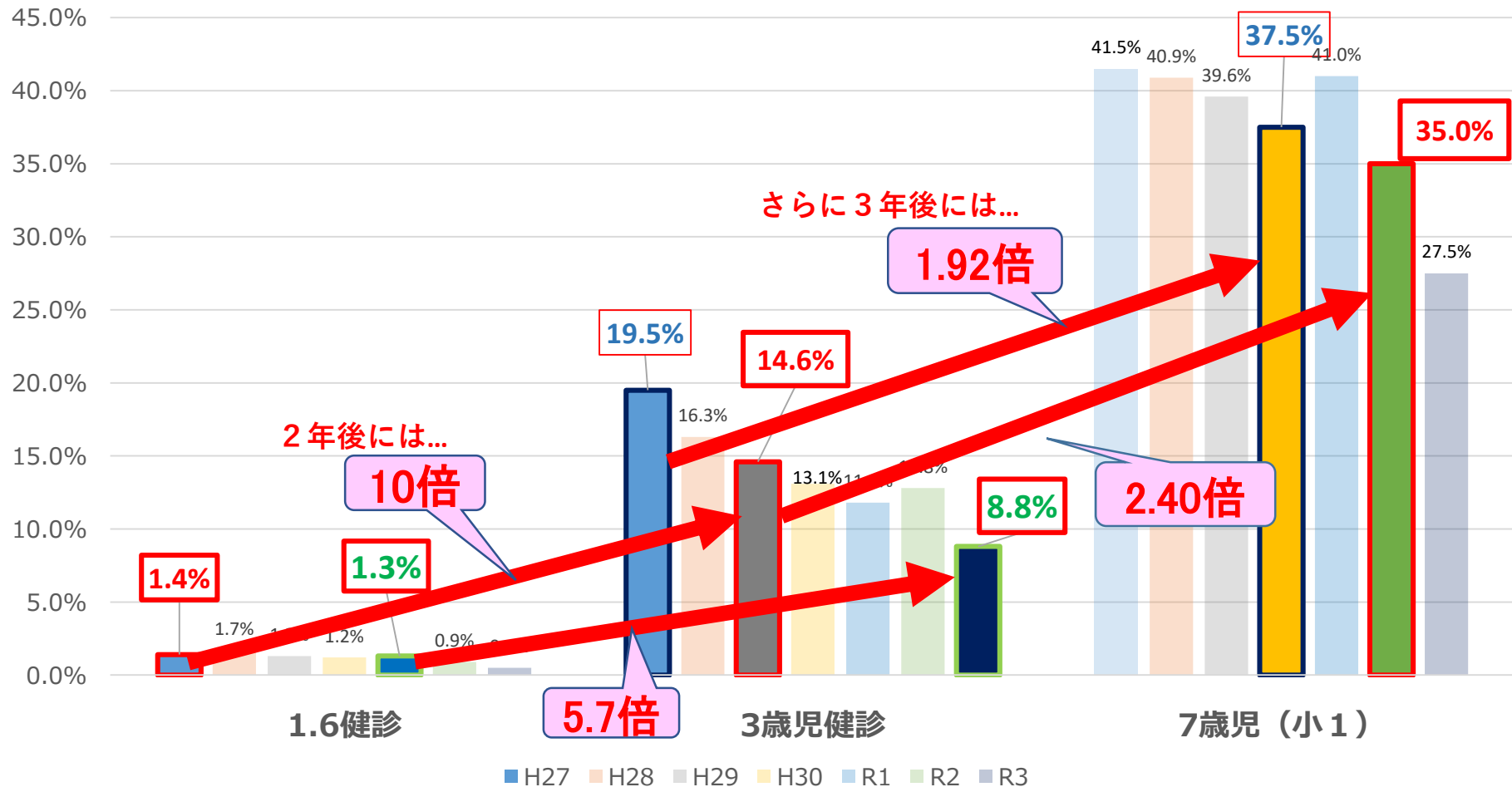
○柏市幼児健康診査におけるむし歯のない児の割合について(H22～R3年度の推移)



○3歳児健診におけるむし歯のない児の割合は年々増加傾向にあり、H22年度に79.7%であったところが、R3年度では91.2%となり、健康増進計画の目標値（90%以上）を達成した。

○コロナ禍においても、むし歯の減少傾向は見られた。

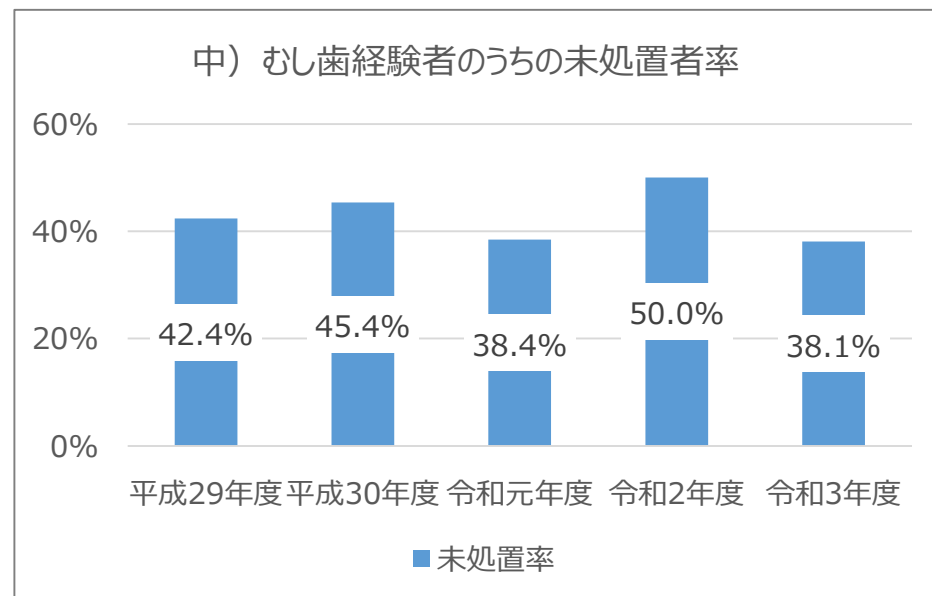
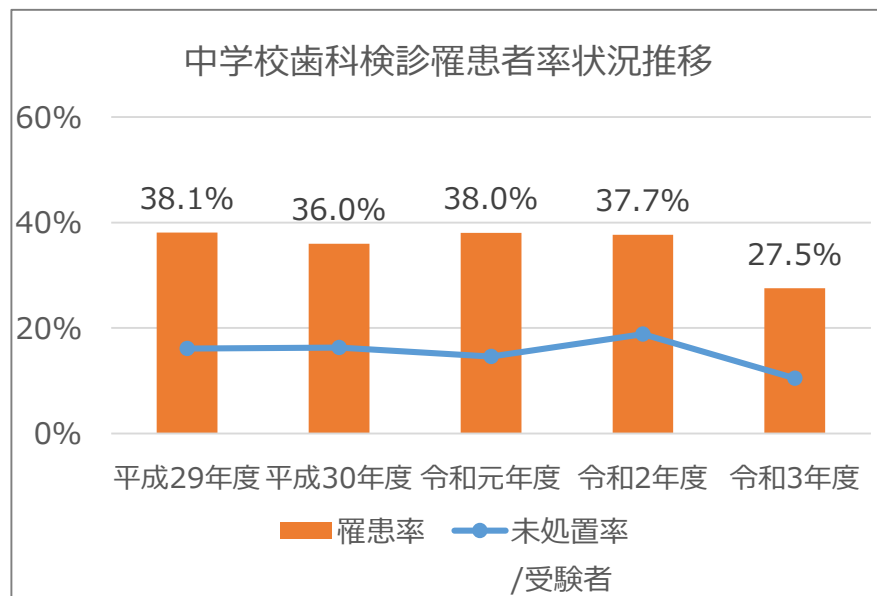
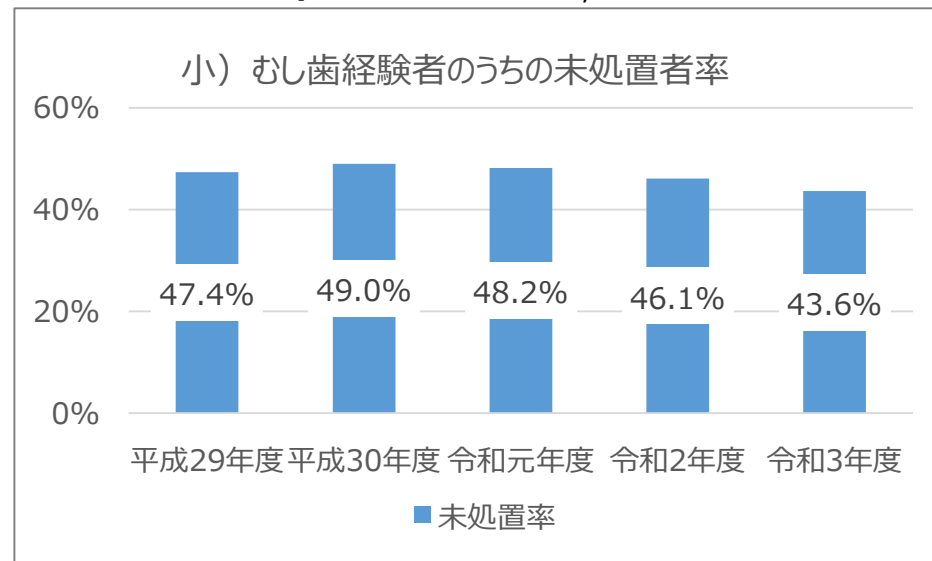
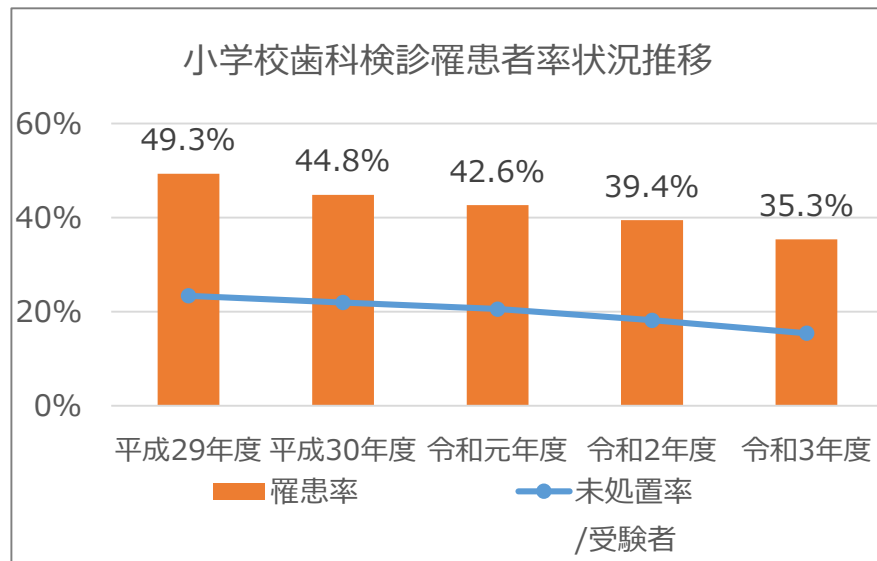
○1.6健診，3歳児健診，7歳（小学1年）時点でのむし歯罹患率の推移



○1歳6か月児歯科健診後，3歳児健診でのむし歯罹患状況を比較すると，H27の1.6時に罹患率1.4%がH29の3健で14.6%と約10倍に増加していたものが，4年後では，R1の1.6時に1.3%がR3の3健で8.8%と5.7倍の増加となり，増加の割合には減少傾向がみられている。

○一方，3健から4年後の小学校1年生時点の罹患状況については，H27からH30の3年で1.92倍，H29からR2の3年で2.40倍と，2倍強の増加がみられ，やや増加している状況。

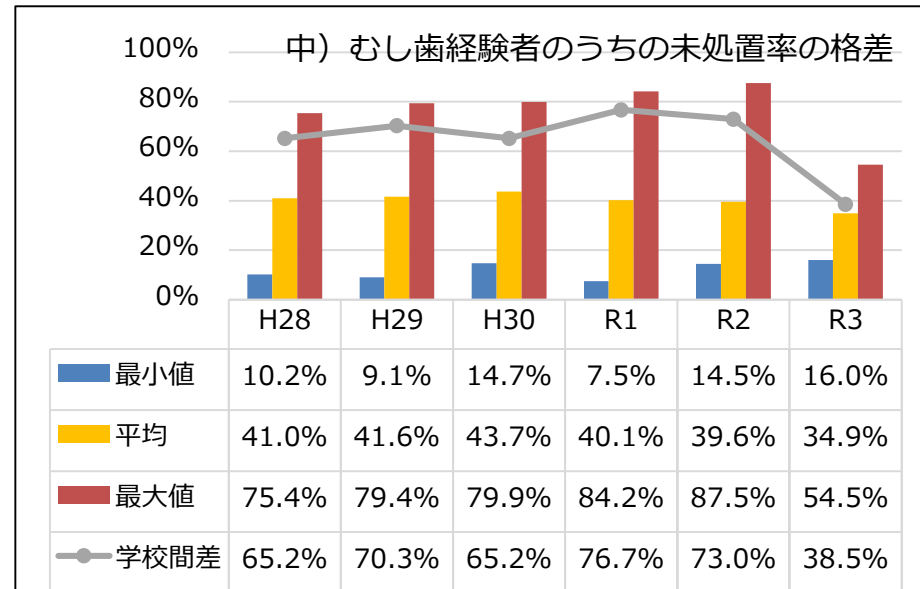
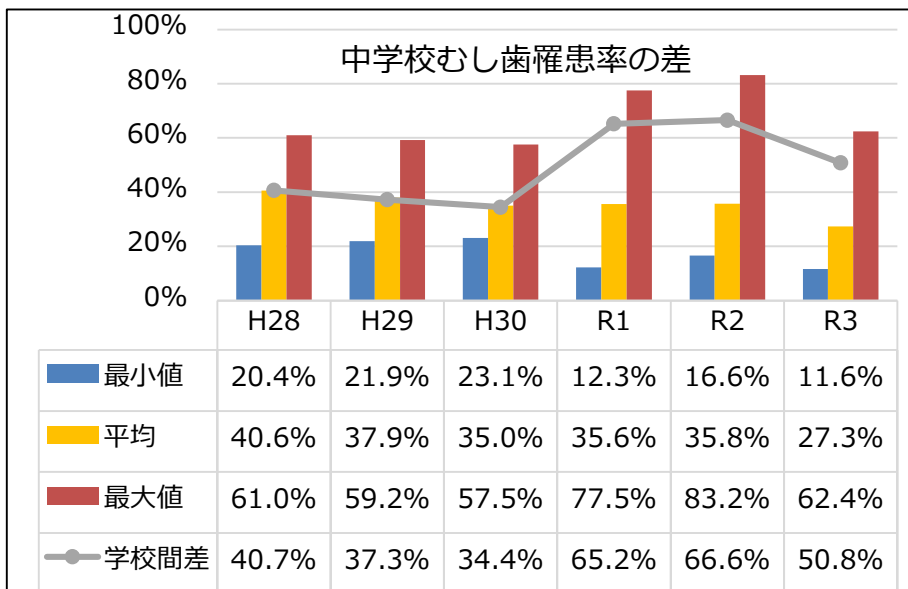
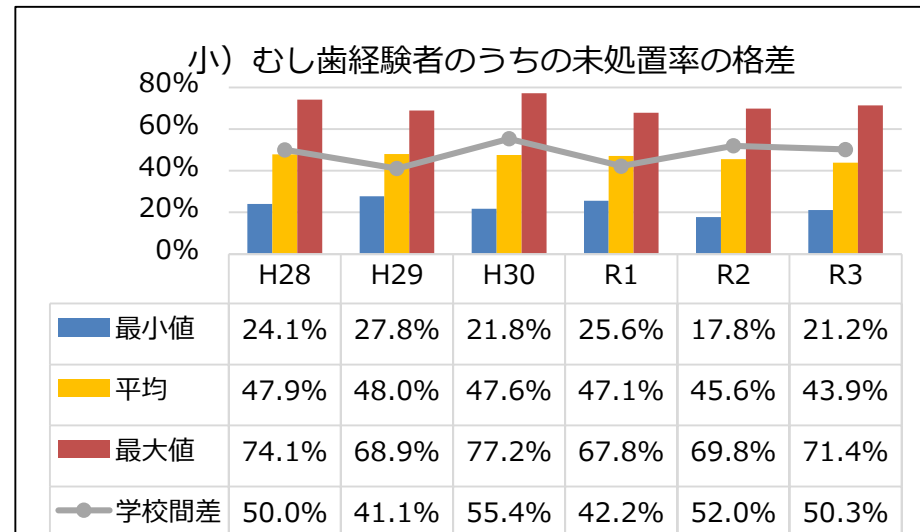
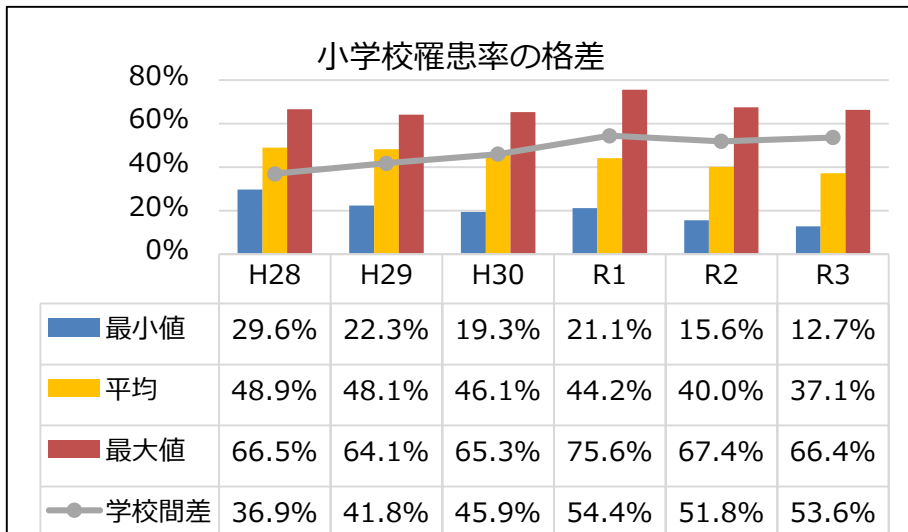
○小中学校歯科検診でのむし歯罹患状況の推移 (H29～R3) ※市立小学校42校, 市立中学校21校の平均値



○小・中ともに、罹患率は減少しているが、むし歯経験者のうちの未処置者率は横ばい傾向がみられる。

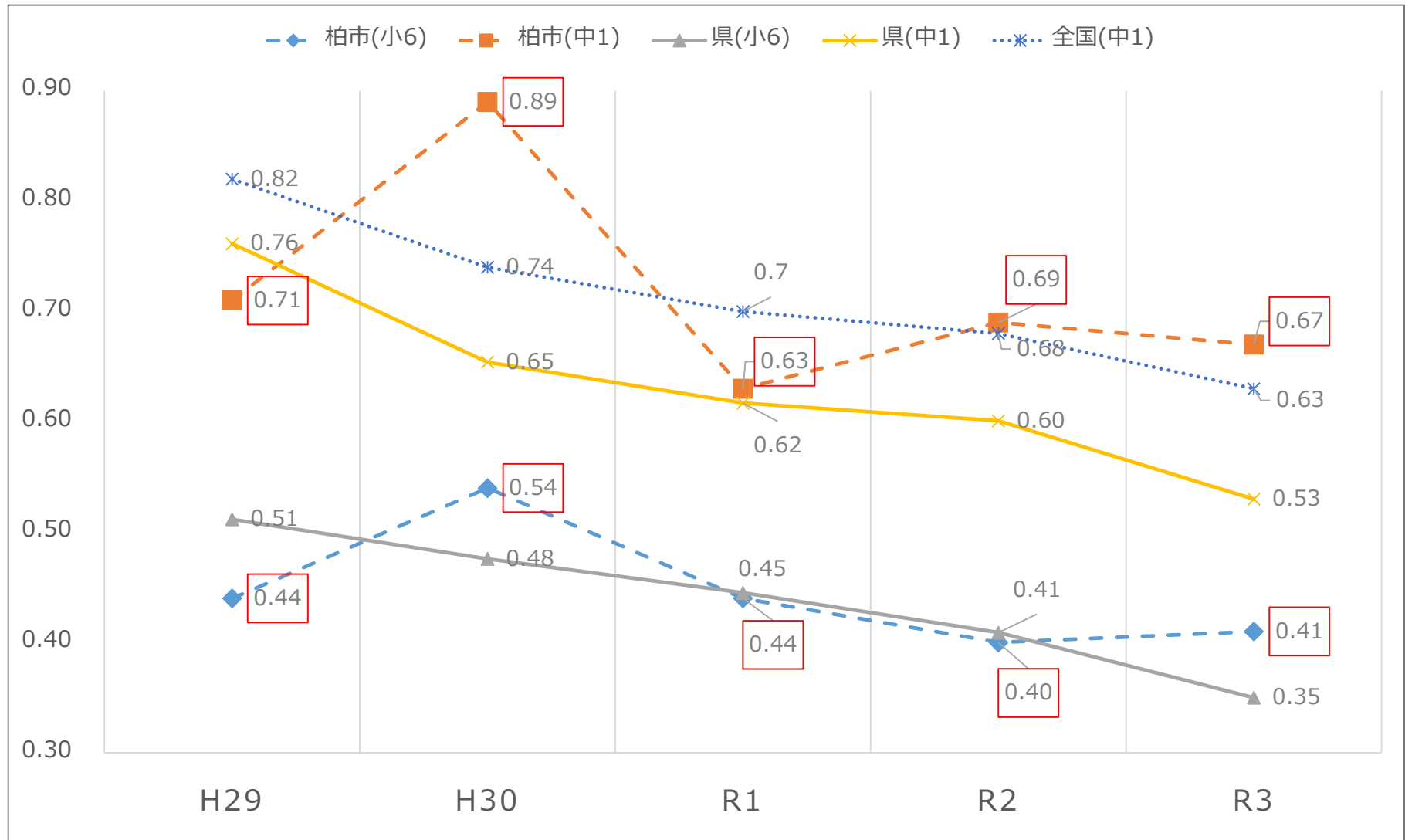
○小中学校間の罹患率の差の推移 (H28～R3)

※市立小学校42校，市立中学校21校



○小・中とも，学校間の罹患率の差が拡大傾向となっている。中学校では全体の平均値と比べても罹患率の高い学校が特に突出して高いと推察。

○12歳DMF歯数の比較 (H29~R3)



児童生徒定期健康診断結果及び学校保健統計調査結果から引用

○小6及び中1のDMF歯数は、ともに千葉県より高く、中1は全国よりも高い。

柏市のこれまでの取組

○健康増進計画の目標は順調に進捗

<具体的な取組>

・歯っぴいかムカムかしわっ子作戦！！

✓乳幼児期から思春期が対象

✓むし歯予防及び歯周病予防の啓発や歯みがき指導

✓歯科保健に関する情報の積極的な発信及び各団体が主体的に口腔の健康づくりに取り組めるよう支援

※小学校での歯みがき指導は、H3年度からH31(R1)年度まで、市内全校の1年生全クラスで、クラス別健康教育を実施。(R2～コロナ禍で休止)なお、フッ化物洗口は未実施。

	ベース ライン H23	現状値 H28	目標値 R4
12歳児の DMF 歯数	0.95本	0.99本	0.70本
歯肉炎を 有する割合			
小学生	18.0%	11.3%	15%
中学生	22.9%	16.4%	20%

取組から見える課題・方向性

○幼児期～学童期のむし歯罹患状況は減少傾向。コロナ禍でも変わらず減少。

→この間、取り組めない事業も多かったが、むし歯は減少。

→とすると、これまでの事業の効果は？何が要因であったのか？

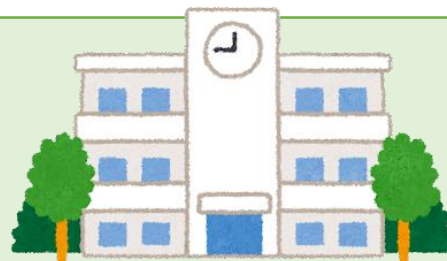
○特に幼児期のむし歯は減少し、目標（むし歯なし90%以上）を達成。

→H22～フッ化物歯面塗布事業（歯科医師会へ委託。2歳半～3歳半までに1回無料）は受診率40～50%で推移。かかりつけ歯科医の推進も合わせて、この受診率を向上させる取り組みが必要。

→乳児期からの情報提供や、相談窓口の周知を強化することで、2歳代の集団指導事業は終了予定。

○一方、「3健以降就学までのむし歯罹患率の増加」や「小中学校のむし歯は減少しているものの未処置者割合は横ばい」「市内の学校間で罹患状況に大きな差がある」「全国・県平均と比較してDMF歯数が多い」などについての対応が今後の課題であり、対策を講じる必要がある。

学校保健



学校歯科健診

歯科保健教育

1人あたりのむし歯本数は減少しているものの、
特定の学校・児童・生徒にむし歯の有病者が偏っている。
⇒健康格差の拡大

地域保健

学校保健でカバーできない児童・生徒に対して、
地域の中での提供の機会を増やす
⇒どのような環境に生まれても、
柏市では適切な口腔保健を享受できる体制づくり

こどもの貧困	子育て支援	障害児支援	地域活動	
こども食堂	学童保育	放課後デイ	スポーツ少年団	NPO活動
学習支援			公民館	図書館
各種手当				

教育委員会
学校保健課

<所掌範囲>

- ・ 学校歯科検診の結果
- ・ 児童生徒の家庭環境

ハイリスク児童の抽出



3課がそれぞれ所管する強みやデータを持ち寄ることで、
単独ではアプローチの難しかった
生活困窮等の「ハイリスク世帯の児童・生徒」に対して
歯や口の健康格差を縮めるための口腔保健事業の実施が可能

保健所
健康増進課・地域保健課

<所掌範囲>

- ・ 口腔保健事業の実施
- ・ 歯科医師会や地域の歯科医院との連携
- ・ 歯科専門職によるフォローアップ

こども福祉課

<所掌範囲>

- ・ 学習支援教室等の地域における様々な子育て支援フィールドの運営
- ・ ひとり親や児童扶養手当受給者等の支援の必要性の高い世帯の情報

今後の取組予定

<学童期の主な課題>

- ・小中学校のむし歯は減少しているものの未処置者割合は横ばい
→個々の格差も拡大している可能性があり、分析する必要あり
- ・R3年度の12歳DMF歯数が全国・県平均より多い
→近隣自治体と比較（取組含め）し分析する必要あり
- ・市内の学校間で罹患状況に大きな差があり、差が拡大しつつある
→学校間格差の状況を精密に分析する必要あり

<目指す姿>

- ・健康格差の解消
- ・持続的な健康づくりのための環境整備

<目指す姿を達成するための取組（案）>

○現状分析の強化充実

（既存データの分析，保護者や児童生徒の意識調査，歯科疾患と生活状況のクロス集計等）

○受診しやすい環境づくり（歯科医師会との連携，児童生徒が受診しやすい条件の抽出）

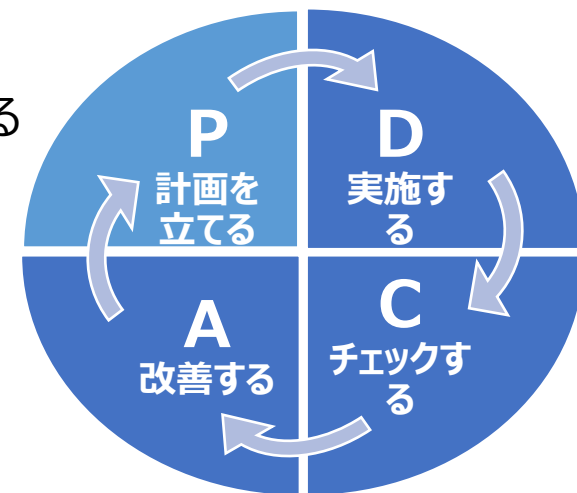
○情報提供，効果的な周知啓発（誰もが取り組みやすい方策，行動変容につながる周知）

○学校以外の多様な主体との連携（習い事やクラブ，民間企業等も巻き込んだ環境整備）

○「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり」**推進校(R5・6)**の協力を通じた課題抽出と実践

（各校の課題やニーズに応じた支援策の検討と実践，できることから・できる学校から）

○フッ化物洗口の実現に向けた調整



多様な主体との連携の重要性

○連携は「当たり前」

- ・歯科専門職は市役所でも少数。もともと同じ課や担当の中で、保健師や栄養士、一般事務職と協働で仕事をするのが必然。幼児健診などの事業はチームでの仕事の基本なので、自然と日々連携している。
- ・歯科保健事業は、地元歯科医師会の協力が必須。歯科医師会には上手に様々な情報を提供し、信頼関係を構築することが必要。
- ・効果的な啓発活動を行うためには、主催・単独実施より、人が集まっているところに出向く方が効率的。そこで受け入れてもらうためには、まずは自らが役に立つ・信頼してもらえようように働くことが重要。となると必然的に、様々な主体（福祉・教育各施設や地域関係者）と連携することになる。

○地域住民の暮らしに寄り添う「仕組みづくり」

- ・必要な支援策を講じるためには、相手の生活背景や思い、歴史や物語を理解することが必要。医療専門職は「アセスメント」として自然に聞き取り、把握することが身につけているはず。客観的に事実を把握したうえで、個々の課題解決に寄り添い支援する。
- ・個々の課題の複数形・共通項が「地域の課題」。行政の専門職は個々の課題解決の経験を、地域の仕組みに落とし込むことが業務。個別支援だけならば専門資格があればできるが、地域の仕組みづくりができてこそ、行政職員。
- ・仕組みを作るためには、関係機関との調整が必要。調整を成功させるためには、客観的なデータや地域の声ももちろんだが、「日ごろの関係性」が最も重要。

「あの人に相談してみよう」「あの人と相談なら聞こう」と思ってもらえる職員を目指しましょう！！

ご清聴 ありがとうございました



左：（一社）[柏歯科医師会](#)キャラクター「ラッキーくん」

右：[柏市インフォメーションセンター](#) キャラクター「カシワニ」